

神奈川県立上溝高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記の通り開催しました。

会議名称	令和８年度 上溝高等学校 第１回 学校運営協議会
階催日時	令和８年６月８日（月）１５：００～１６：４５
開催場所	上溝高等学校 会議室
出席者	【学校運営協議会委員８名（敬称略）】 会長 小泉 力也 上溝高等学校第２９代校長 副会長 林田 裕之 上溝高等学校 校長 委員 嶋野 智文 相模原市立上溝中学校長 委員 関島 茜 本校 PTA 会長 委員 小山 美代恵 同窓会（鳩友会）会長 委員 鈴木 崇之 上溝商店街振興組合理事長 委員 永野 堅次 上溝地区社会福祉協議会会長 委員 倉橋 強治 自治会法人本町自治会会長（欠席） 委員 山口 信郎 神奈川県更生保護協会理事長 【学校職員】 林田 裕之 学校長 小松平 由美子 副校長 前田 崇暢 教頭 齋藤 学 事務長 秋庭 真季 学務グループ 池田 岳史 地域連携グループ 森下 和彦 生徒活動グループ 山口 剛志 支援相談グループ 丸茂 千秋 キャリアグループ 木村 信彦 学校管理グループ 藤田 汐美 地域連携グループ（記録）
会議資料	第１回学校運営協議会資料冊子
議事録	○（副校長）開会の言葉 資料確認 （１５：００） ・令和８年度第１回学校運営協議会資料 ・令和８年度年間行事予定 ・令和７年度第３回学校運営協議会議事概要 １ 校長挨拶 ・令和８年度の教育計画の説明を行う。学校運営について奇譚のない意見を伺いたい。 ２ 令和８年度学校運営協議会委員の委嘱 ３ 会長、副会長の選任 ・会長は小泉委員、副会長は林田校長とする。 ・令和８年度有識者：小泉委員、山口委員にお願いした。

神奈川県立上溝高等学校 学校運営協議会 開催結果

4 委員および関係職員の自己紹介

- ・各委員より挨拶
- ・学校職員の挨拶

5 学校評価部会〈学校運営に係る報告と計画〉資料3、資料4、資料5、資料6

(1) スクール・ミッション及びスクール・ポリシー、学校教育計画、グランドデザインについて
○校長

- ・資料3～6の説明
- ・上溝高校を「安心感の中に活力のある学校」にしていきたい。

そのために、新しい取り組みも不可欠だが、今本校にあるツールを充実させたい。

- ・年度初、本校職員には「今よりも一歩先へ進め」と伝えた。

教育活動の充実を外部へ発信し、上溝高校のさらなる志願者獲得に務めたい。

(2) 令和7年度学校評価報告書〔実施結果〕および令和8年度学校評価報告書〔目標設定〕について(各グループリーダー)

○秋庭(学務グループ) 資料7、8

- ・授業実践や指導事例の共有を組織的に行う。
- ・ICT ツールを活用し、学習履歴の蓄積から、生徒が目標と現状のギャップを自覚し、粘り強く学習に取り組む自己調整的な学習を支援する。

資料11の1-3

- ・1年生～3年生の教育課程編成について提示。

資料11-3が令和8年度入学生からの新しい教育課程。時間割上、月～金曜日全てが6時間となり、1年で計30単位の修得となる。

○森下(生徒活動グループ) 資料7、資料8、資料13、資料14

- ・部活動の加入率は増加傾向(全体で78%の加入)。部活動・同好会からどのような事が身についたのかを見ていき、中身が充実していけるようにしたい。
- ・上高ルールメイキングプロジェクト(資料13の⑤)への取り組みとして、生徒自身がどうしたいのか考えさせ、職員への提案・対話を重ね、行事等へ主体的に取り組ませたい。
- ・今年度の体育祭は一見すると地味に感じられたかもしれないが、応援ダンス、衣装、装飾のあり方等を生徒と見直し、各団の団旗をつくる等内容としては充実させることができた。
- ・文化祭も生徒からアーチの作成や、ごみ箱のデザイン等の提案が出ている。また、委員にもっと仕事をふってほしいという意見もあるため、生徒に仕事を振り分け、活動の場を増やしたい。

○山口(支援相談グループ) 資料7、資料8、資料12-1、12-2、資料16-1、16-2

- ・令和7年度は各学期ごとに重点取組を設け、生徒の理解を十分に得られた。
- ・令和7年度は自転車による事故が何件か見受けられた。スマートフォンについては、授業中やSNS

神奈川県立上溝高等学校 学校運営協議会 開催結果

の使い方等について文章で明確化し取り組んできた。服装について生徒からの提案について協議を行い、ポロシャツ（白・紺、胸元はワンポイントに限る）導入を開始。

- ・令和 8 年度も引き続き、交通安全指導、スマホの使い方の指導に粘り強く取り組む。

また、SC や SSW と連携し支援が必要な生徒へのサポートを行う。

- ・今年度、いじめ事案への対策会議は 2 回実施。いじめは絶対許さない、ということを学校で強く示していく。

○丸茂（キャリアグループ）資料 7、資料 8、資料 19

- ・令和 7 年度は外部機関との連携や各種行事を通して進路意識の向上に取り組む事が出来た。

・令和 8 年度は上記に加え、3 年時での英検 2 級取得、スタディサプリ等の ICT 教材の活用を進めていく。

・資料 19 は令和 7 年度卒業生の進路状況。専修大学の合格実績減。ある学部学科に関しては合格ラインが大幅に上がったと聞いている。

・高校の教員対象の説明会では入試の展望について、入試の方法が一般選抜よりも年内入試（総合型、学校推薦等）にシフトが増加傾向。年内入試の風潮もあるが、生徒には「一般入試で頑張ること」「第一志望の追求をなさい」と声掛けを続けたい。

○池田（地域連携グループ）資料 7、資料 8、資料 18

- ・令和 8 年度は地域連携、広報の強化に注力する。

・地域連携については、計画段階ではあるが、上溝中学校と部活動等何らかの形で連携したい。

自治会との連携については、ボランティア部を中心に、商店街との連携を進めたい。

（直近では、相模原ダイナボアーズのイベントボランティアに参加）

・広報についてはホームページの改善や更新頻度を上げること、学校案内やポスターデザインの刷新を行う。

- ・学校説明会では、生徒会やボランティア部等の生徒を全面に出していく。

○木村（学校管理グループ）資料 7、資料 8、資料 15-1、資料 15-2、資料 17

- ・令和 7 年度は、避難訓練や DIG 実習等を通して防災意識を高めることに取り組んだ。

・令和 8 年度は、訓練を通して生徒が得た気づきを実生活で活かすこと、防災意識のさらなる向上を図る。そのために、防災避難訓練で消防署との連携、DIG 実習では ICT を活用し、生徒間で気づきの発信と共有を行いたい。

- ・PTA 事業では、体育祭で給水所を 2 箇所設け生徒活動を支援いただいた。

10 月に食堂試食会を計画している。

神奈川県立上溝高等学校 学校運営協議会 開催結果

(3) 県立高校指定校事業「教育課程研究開発校 学習評価」について

○秋庭（学務グループ）資料 9、資料 10

・昨年度に引き続き、教育課程研究開発校（学習評価）として研究を行っていく。令和 8 年度からは、モデレーションを「評価基準のすり合わせ」という手法から定義を拡大し、「生徒が評価を意識して活動する」ことを普段の授業の中へ継続的かつ組織的に組み込む。

・今後のスケジュール

6/18（木）職員研修会：各教科において生徒を巻き込む方法を議論する

8/7（金）相模原市と県央地区で研究成果中間報告会

11/10（火）公開研究授業

意見交換（●：学校運営協議会委員 ○：学校職員）

●永野委員

・同じ研究テーマの県の指定校は何校かあるのか。

○秋庭

・県内で 5 校、連絡協議会で情報共有を行っている。研究授業日は互いに見に行き協議へ参加する。

○校長

・研究テーマは県内 15 程度展開している。

●鈴木委員

・上溝高校では有事の際、近隣の方が避難してきた場合、どう対応するのか。深夜時間帯の一時避難も考えられる。

●小泉会長

・一時避難の可能性はあるため、校内のどこを近隣住民に解放するか。相模原市とやりとりが必要。

●永野委員

・先日の台風で警戒レベル 4 の時、公民館へ近隣住民が避難。公民館は上溝小学校と違って冷暖房の設備はあるが、飲み物や食べ物の用意はない。

●山口委員

・基本、学校に避難する場合は体育館利用。体育館をどのような形で開放するか、避難所運営協議会との連携が必要。上溝小学校には飲み物や食べ物（1 日分）、あとは毛布等がある。

・防災無線は大野北中学校にはある。

●永野委員

・上溝は各自治会で 2 名分、防災無線がある。

○校長

・上溝小学校が避難所のため、上溝高校として一時受け入れは整ってない。昨年度カムチャッカ沖地震での津波警報があった時、海沿い地域の住民が近くの学校に避難、避難所に指定されていない県立高校にも避難してきた方がいたと聞いている。

●山口委員

・学校の避難所は基本的に体育館。他に開放するとしたら踊り場等。教室は基本開放しない。（解除

神奈川県立上溝高等学校 学校運営協議会 開催結果

したときに不自由なこと、個人情報の関係もあるため難しい)

●鈴木委員

- ・テント持参で校庭に避難してくる場合もある。

●山口委員

- ・テントを体育館内でプライバシー保護に使用する場合もある。

●嶋野委員

- ・道交法改正後、自転車の通学指導はどのように行っているか。

自転車点検等は実施しているか、またヘルメット着用率はどうか。中学校はほとんどの生徒が着用。

○山口

- ・青切符については、クラスルームでの情報共有、ポスターの掲示、集会での発信等を行った。
- ・自転車保険に入っていない生徒にはステッカーを配付していない。
- ・4月に自転車点検を実施。ヘルメットの着用率は低く、10名程度。

○校長

- ・ヘルメット着用は他校も苦戦している。(置き場所がない、盗難の可能性等)

先日訪問した東京都立の高校は、保険とヘルメット着用を条件に自転車通学を許可している。

神奈川県は努力目標。

意見（総評）

●嶋野委員

- ・中学校は休日の部活動が地域移行に伴い、部活の加入率も減少が予想される。

上溝高校は部活動への加入率が高い印象。こちらは部活の種目等によって指導できる教員がいないため、部活での交流等の連携を行いたい。

●関島委員

・引き続き交通安全指導に力を入れたい。他校事例だが、津久井高校はバイク通学が可ということもあるが、ヘルメット着用率 100%。5月の PTA 常任委員会において、交通委員より一時停止しない生徒が多く事故が多いと伺っている。(特に資料 16 - 2 の④の場所)

・ボランティア活動については、相模原地区大会の県高 P 連の「生徒活動部門賞」に、今年度上溝高校を推薦したい。

・体育祭での給水活動についても、学年委員の方から「やりがいがあった」との声。生徒達も手伝ってくれたり、会話が生まれてよい取り組みだった。

- ・水、麦茶、アクエリアスを準備していたが、アクエリアスが断然人気だった。

●小山委員

- ・先日の体育祭、生徒が生き生きと活動している姿が見られとてもよかったと思う。
- ・自転車の通学指導は適宜必要。

神奈川県立上溝高等学校 学校運営協議会 開催結果

○校長

・昨年度、生徒との懇談会を踏まえ、鳩友会（同窓会）よりスポットクーラー２台の寄付をいただいた。卓球場と武道場に設置予定。

●小山委員

・７月に生徒会の生徒たちと話す予定。対処できるものは対応したいと考えている。

●鈴木委員

・旧ダイエーは、今後どのようなテナントが入るのか動きは不明。

学生となにか連携し、街の魅力発信をいい方向に持っていきたい。

例えば、朝市でのバザー等。

●永野委員

・社会福祉協議会へのボランティア活動に例年協力いただき助かっている。

・上溝中学校前で挨拶運動を週２回しているが、自転車の行き来については心配なゾーン。

時間に余裕を持って通学するように促してほしい。

・上溝地区は桜まつり（４０種類の桜）の他に、今の時期であればホタルの一般公開等も実施。

・上溝や橋本等の地域の行事について、高校生にも見てほしいし、地域資源のPRをしてほしい。

●山口委員

・体育祭や文化祭について、生徒が自主的に運営等を改善していくことはすごくいいと思う。

そうした試みは普段の生活にも波及すると思う。

・学校説明会はぜひ生徒を全面に出していただきたい。中学生は「先輩みたいになりたい」というイメージがわくと思うし、保護者の方は「あんなふうになってほしい」というイメージを持っていただけと思う。

・先生方には、ちょっとしたことでもいいから生徒への声掛けを常にしてほしい。生徒にとってはすごくうれしい、心に残ること。

●小泉会長

・学びの形の定着や指導事例共有を組織的に行うことは大事だが、上溝高校なりの学びの形を整理したほうがいいのではないか。（例えば、１年時の国語はどう教えるか等）

・学校の特色については、全日制は同じように見られがちだが、「学び」は生徒の特色に応じたものであり、それが学校の特色につながると考える。教科間で誰が何をやっているかの共有等。

・スマートフォンの使い方については、本来は保護者が教えるべき事柄であるが、情報リテラシー能力の育成は学校全体で必須だと考える。

○副校長（閉会の言葉）

・次回の日程について １１月１８日（水）１５：００からを予定

神奈川県立上溝高等学校 学校運営協議会 開催結果